

3

むかしむかし、あるところに、^{ひとり}一人のおじいさんがいま
した。

^{いえ ゆうふく}家は裕福ではありませんでしたが、おじいさんは毎日^{まいにち}お
^{そな もの も}供え物を持って、^{やま かみさま}山の神様のほころに^{まい かよ}お参りに通っていま
した。

ある日、^ひおじいさんがいつものように、^{やま かみさま}山の神様のほこ
^{いの}らでお祈りをしていると、^{とつぜん ふ し ぎ こえ き}突然不思議な声が聞こえてきま
した。

『^{まえ}お前は^{しんじんぶか}とても信心深い。そんなお前に、^{まえ い さず}良いものを授け
よう』

すると、おじいさんの^{あたま うえ}頭の上に、^おなにかがぱさりと落ち
てきました。



5

『それは【ききみみずきん】とって、それをかぶると、
とりことば鳥やけものの言葉がわかるようになるのだ。それをつか使っ
て、ひとひと人々のためになるようなことをしなさい』

「はいかみさま神様、ありがとうございます！」

おじいさんはかみさま神様にふか深くおじぎをして、いえ家にかえ帰っていき
ました。



2 1

A long time ago, there lived an old man.

His household was not wealthy, however, he visited the small shrine of the God of the Mountain with offerings and prayers everyday.

One day, the old man was praying in the shrine of God of the Mountain as usual, then he heard a mysterious voice from nowhere.

“You are very faithful. I will grant you with some goods.”

Then, something had landed gently onto the old man’s head.



“It’s called ‘The Magical Listening Hood’, if you wear it, you will be able to understand the language of birds and animals. Use it conveniently to help others.”

“Yes God, thank you so much!”

The old man deeply bowed to the God and walked back to his home.

